

事業名 ギャラリーモールオープニング記念事業

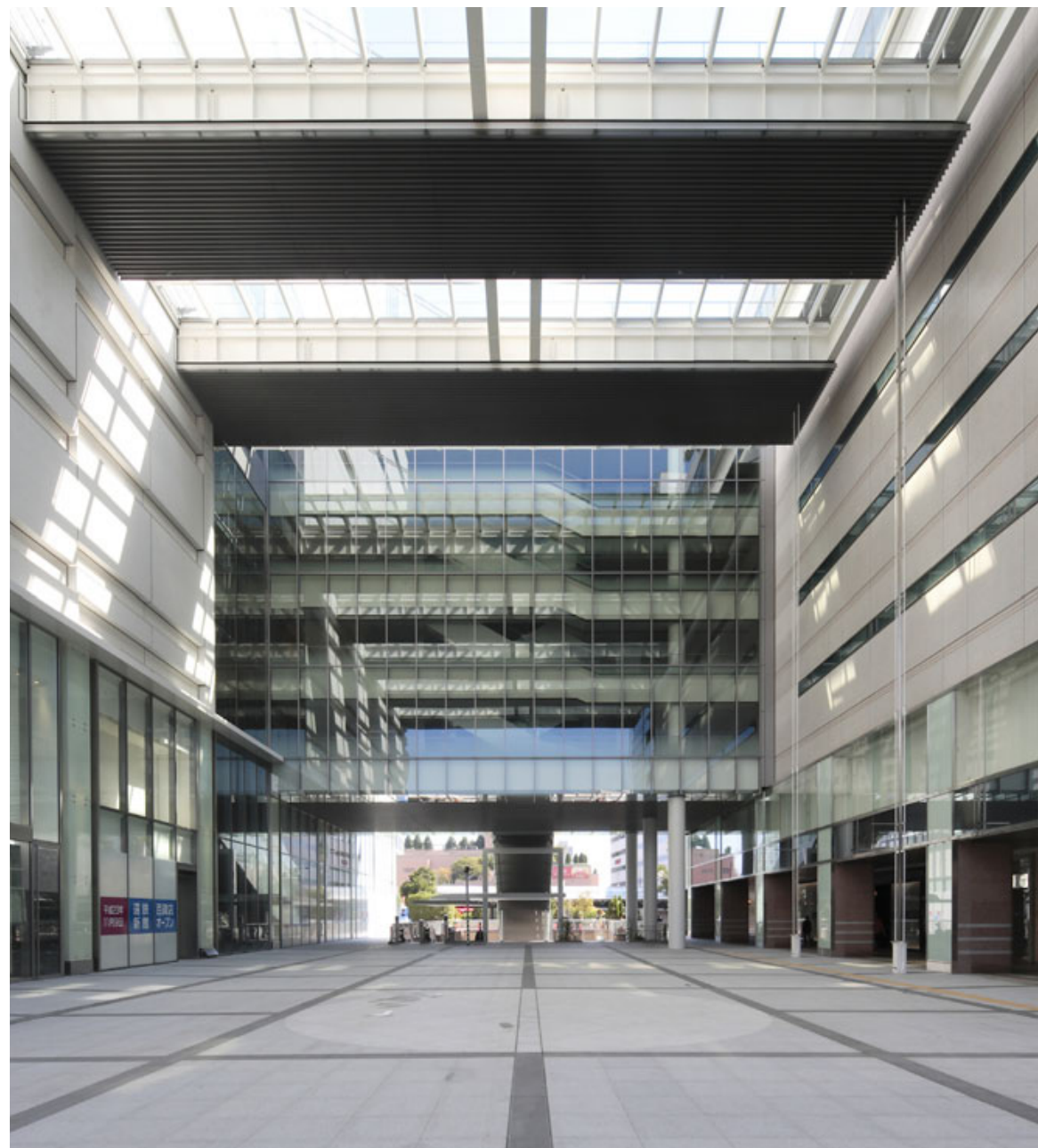
開催日	平成23年10月1日(土)
会場	浜松市ギャラリーモール「ソラモ」
実施目的	市制100周年を迎えた年に、浜松市ギャラリーモールが、「ソラモ」という愛称とともに都心の新たな賑わい施設として、また情報発信の場としてリニューアルオープンした。全天候型のイベント施設として生まれ変わったギャラリーモールを広く市内外に周知し、あわせて、市制100周年を記念するオープニングイベントとして開催。オープニングイベントを開催する中で、ギャラリーモールの多様な利用方法をアピールすることにより、施設の利用促進を図り、今後の都心活性化につなげていく。

■ 実施内容

ソラモ(ギャラリーモール)オープニングイベント

吹奏楽演奏・弦楽四重奏・ジャズライブ・はままつ名産マルシェ

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>幅広い年齢層の方の来場により、ギャラリーモールのリニューアル及び100周年をお祝いいただくとともに、都心の賑わいの拠点としてのギャラリーモールの位置づけを明確化することができた。施設利用予約も順調であり、11月の隣接する商業施設のオープンもあって、週末は多くの人出があり賑わいを見せている。今後、アクトシティにおける全国的な催し等と合わせて、地元産業のPRの場として利用されることで、浜松の情報発信の場として期待できる。</p>
入場者数または参加者数	10,000人(推計)
参加者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・政令都市浜松市の玄関口として、賑わいのある場所としてほしい。 ・ギャラリーモールを拠点として、都心の回遊性を考えていかななくてはいけない。



事業名 浜松出世城まつり

開催日	平成23年11月6日(日)
会場	浜松城公園
実施目的	浜松市制100周年を機に「徳川家康公」を題材としたプロモーション事業を進めるなか、この一環として家康公、浜松城にちなんだイベントを開催することにより、本市の歴史及び文化の伝承はもとより、国内外への本市のPR、さらには地域の観光振興を図ることを目的に開催。

■ 実施内容

- 伝統芸能等
 - 和太鼓演奏 出陣太鼓と合戦行列
 - 火縄銃演武 合戦絵巻／三方ヶ原の戦い
 - 具足弓演武 遠州大念仏
 - 居合演武
- 案内所
 - ・総合案内ブース
 - 会場案内、パンフレット配布
 - 震災義援金ブース(総合案内ブースにボックスを設置)
 - 浜松城パネル展
 - 静岡県西部地区観光協議会案内PR
 - ・家康公ゆかりのまち案内ブース
 - ・記念切手販売
 - ・井の国観光案内PR

実施結果	<p>● 事業成果・効果</p> <p>家康楽市とのコラボレーションにより、官民一体によるイベントを実現し、相乗効果により多くの方に来場いただいた。 家康公、浜松城を見直す機会となり、浜松市における歴史・文化を披露する場となった。</p>
入場者数または参加者数	10,000人



事業名 「戦国の覇者 徳川家康と浜松」展

実施形式	徳川家康と浜松展実行委員会
開催日	平成23年12月3日(土)～平成24年1月9日(日)
会場	浜松市美術館
実施目的	市制100周年の節目に、浜松を歴史的な角度からとらえ、浜松市の文化財として、浜松における家康公のご事績を広く全国に発信することを目的に開催。

■ 実施内容

浜松在城時の若き日の家康公、浜松生まれの将軍・秀忠公を中心に、浜松ゆかりの人々を取り上げ、国宝、重要文化財、指定文化財を含む約140点の美術工芸品を展示した。

前期：平成23年12月3日～12月18日

後期：平成23年12月20日～平成24年1月9日

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>展覧会開催のため、全国20カ所以上から貴重な資料を集め、浜松オリジナルの特別展を開催したことで、市内及び県外からも歴史ファンが大勢見学に訪れた。また、今回は浜松城・教育委員会とも連携して事業が展開でき、観覧者増につながり、家康公と浜松は関わりが深いということを、改めて全国に発信することができた。</p>
入場料または参加料	大人1,200円、大高専門生700円、小中学生500円
入場者数または参加者数	19,722人
参加者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・展示品の数々を見て、迫力を感じ圧倒された。 ・全国各所から、よくこれだけ貴重な品を集めたものだ。 ・家康の偉業等を再発見することができた。



事業名 家康公シンポジウム

開催日	平成23年12月3日(土)
会場	静岡文化芸術大学 講堂
実施目的	徳川宗家、徳川四天王の現当主、静岡大学の小和田哲男名誉教授などをパネリストとしたディスカッションを市民向け公開シンポジウムとして開催。史実を紐解きながら浜松における家康公を探った。「家康公プロモーション事業」の一つとして、徳川家康公を題材に国内外に浜松をアピールするとともに、家康公が遺した歴史的・文化的財産や価値を再発見し、新たな文化・観光を創出しながら、都市の魅力を向上させることを目的とした。

■ 実施内容

- **登壇者** 徳川恒孝(つねなり)氏(徳川宗家18代当主)
酒井忠久氏(酒井家当主)
本多隆将(たかゆき)氏(本多家当主)
榊原政信氏(榊原家当主)
井伊直岳(なおたけ)氏(井伊家当主)
小和田哲男氏(静岡大学名誉教授・文学博士)
浜松市長
- **プログラム** オープニングアトラクション:遠州大念仏公演
パネルディスカッション
演武:グレート家康公「葵」武将隊演武

実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業成果・効果 初めて徳川宗家と徳川四天王の現当主が一堂に会するということもあり、事前申し込みは定員を大きく超え大盛況であった。公開シンポジウムを通し、浜松内外に家康公と浜松の関係をアピールするとともに、家康公を題材とした浜松発のまちづくりについて考える機会となった。 ● 100周年以降へのつながり(成果・効果) 家康公と浜松の関係を知るきっかけとなり、「家康公ゆかりの浜松」についての市民意識の定着に効果があった。今後は家康公に加え、家康公に関連する人々や浜松城歴代当主の出世の実績をアピールするなど、出世ストーリーを活用して浜松をプロモーションしていく。
入場者数または参加者数	600人



事業名 全国街道交流会議第8回全国大会「浜松大会」

実施形式	全国街道交流会議第8回全国大会「浜松大会」実行委員会
開催日	平成24年1月12日(木)、13日(金)
会場	アクトシティ浜松中ホール・コンgresセンター
実施目的	市制100周年を迎える浜松から全国に向けて街道文化を発信するとともに、連携による地域の自立や、みち・もの・文化などの地域資源の活用について提言を行い、全国の地域づくり・まちづくりに貢献することを目的として開催。

■実施内容

【1月12日】

首長懇談会 「街道と地域再生」

開会セレモニー 「主催者挨拶」(浜松市長)

「大会趣旨説明」(森地茂全国街道交流会議会長)

「来賓挨拶」(足立敏之国土交通省中部地方整備局長)

記念公演 「日本の文明、その将来」(川勝平太静岡県知事)

「日本人の忘れ物—歴史の知恵と日本再生」(中西進奈良県立万葉文化館館長)

分科会 第1分科会「連携による地域資源の活用～街道観光の構築に向けて～」

第2分科会「県境連携による地域の自立」

第3分科会「新たな交流軸と地域の発展」

第4分科会「街道に刻まれた災害の歴史に学ぶ」

全大会及び浜松総括 (浜松市長、野村興兒(こうじ)萩市長、堀泰則高山商工会議所副会頭)

次回開催地紹介 (浜松市長、吉田正治山口市副市長)

交流会

【1月13日】

エクスカージョン

①姫街道コース(姫街道の役割と湖北五山の景観に学ぶ)

東海道を補完したもうひとつの幹線道路である姫街道が担った役割を学ぶとともに、浜名湖湖北の歴史的景観を探索。

②東海道コース(城下町・宿場町整備と街道の災害史に学ぶ)

江戸時代当時、遠江最大の城下町であった浜松であるが、歴代城主が城下整備を進め、その名残が今も残ることから、古地図を基にした城下散策と宿場町探訪や、災害の歴史を秘める新居関所などを訪問。



実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>講演や報告を踏まえた建設的な意見交換を通じ、大会テーマである「街道がつなぐ歴史・絆・未来」について議論を深めることができた。また、「「街道観光」の環(わ)を広げていくこと」「歴史防災(街道に学ぶ災害に強いまちづくり、まちづくり)に取り組んでいくこと」などの提案をまとめ、街道観光や歴史防災など、「街道」を軸とした地域づくり、まちづくりの更なる進展に向けた方向性を示すことができた。</p>
入場者数または参加者数	約400人

事業名 第20回全国救急隊員シンポジウム

実施形式	・全国救急隊員シンポジウム運営委員会 ・「第20回全国救急隊員シンポジウム」開催地運営委員会
開催日	平成24年2月2日(木)、3日(金)まで
会場	アクティ浜松
実施目的	救急業務に関する研究発表や最新の医学知識等を学ぶ場を設け、救急業務の充実と発展に資することを目的に開催。

■実施内容

- テーマ “20年の歩みをこれからの救命の決意に!!”
～二十歳(はたち)の誓いを浜松から～
- プログラム 「制度の動向を伝える」「知識・技術の付与」「研究成果の発表」の3本柱で構成され、総合討論、パネル、発表等を行った。
なお、一般向けの市民公開講座も開催した。

実施結果	●事業成果・効果 全国各地から参加された消防職員等に、病院前救護に係る“知識”及び“技術”、そして、“決意”を「二十歳のバトン」として手渡した。このため、各参加者のスキルアップを図ることができたほか、今後、各参加者が各地域において「二十歳のバトン」をつなぐことにより、更なる救命率の向上等の一助となることが期待される。
入場者数または参加者数	延べ6,000人程度
参加者コメント	・二十歳のシンポジウムを実感できる大会であった。 ・これからの“救命の決意”を固める良い契機となった。 ・病院前救護の“今”と“今後”を知る良い機会となった。



事業名 浜松市制100周年記念大会第8回浜松シティマラソン

実施形式	浜松シティマラソン実行委員会
開催日	平成24年2月26日(日)
会場	浜松市役所、浜松市四ツ池公園陸上競技場
実施目的	市民が気軽にスポーツに親しむことができる場として、浜松市を代表する市民スポーツイベントである浜松シティマラソンを開催。第8回を迎える今大会は、市制100周年を記念し、ハーフマラソン(日本陸上競技連盟公認コース)を実施し、参加規模も1万人に拡大した。

■ 実施内容

【種目】

- ハーフマラソン 浜松市役所 8:30 スタート
- 5キロマラソン 四ツ池公園陸上競技場 8:30 スタート
- 3キロマラソン 四ツ池公園陸上競技場 10:50~55 スタート

【申込人数】

- ハーフマラソン 3,700人
- 5キロマラソン 3,340人
- 3キロマラソン 3,427人 合計10,467人

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>従来の10マイル、10キロに替え、市役所をスタート、四ツ池公園陸上競技場フィニッシュとするハーフマラソンを実施し、5キロ、3キロの3種目に全国から10,467人の参加申し込みがあり、成功裡に終えることができた。また、市制100周年を迎えた浜松市をPRすることができた。さらに、テレビ静岡による1時間番組の放送と浜松ケーブルテレビによる放送も行われ、大会のPRをすることができた。</p>
	<p>●100周年以降へのつながり(成果・効果)</p> <p>新コースであるハーフマラソンコースは走りやすいと評判もよいことから今後も継続していくとともに、全国に情報発信をして応募を拡大し、市民マラソンとしての発展を目指す。今回は、約400名の市民ボランティアの協力を得て実施したが、さらにボランティアの拡大を図り、市民協働を進めていきたい。</p>
入場者数または参加者数	延べ6,000人程度
参加者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のハーフマラソンコースは走りやすいコースである。是非継続をしてください。 ・自由広場の物産展は、毎回楽しみの一つである。 ・今回の100周年記念番組のテレビ放送を見るのが楽しみである。



事業名 浜松市・札幌市音楽文化都市交流事業「札幌交響楽団」

実施形式	浜松市、札幌市、(財)浜松市文化振興財団 主催
開催日	平成24年3月20日(火)
会場	アクトシティ浜松 大ホール
実施目的	浜松市・札幌市音楽文化都市交流宣言により、浜松市制100周年及び札幌交響楽団創立50周年を記念した浜松公演を開催。

■実施内容

- 指揮 尾高忠明(札幌交響楽団音楽監督)
- 演奏曲目 ベートーヴェン作曲 交響曲 第7番 イ長調 Op.92
交響曲 第5番 ハ短調 Op.67「運命」

実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ●事業成果・効果 ・多くの市民が、格安の入場料で日本を代表するオーケストラの演奏を鑑賞することができた。また浜松市以外の客層も多く、音楽の街をアピールできた。 ・これまでの浜松市と札幌市の交流の様子を展示し、来場者へアピールができた。 ・今後は、青少年団体や市民レベルの交流を積極的に企画し、多くの市民に札幌との音楽文化都市交流を広めていく。
入場料または参加料	一般3,000円、学生1,000円
入場者数または参加者数	約1,300名
参加者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・リーズナブルな入場料で、レベルの高い迫力ある素晴らしい演奏が聴くことができ満足できた。 ・選曲もよく、知っている曲だったので楽しむことができた。 ・憧れの尾高忠明氏の迫力ある指揮が素晴らしかった。 ・札幌交響楽団のファンになった。また、浜松に来てほしい。

